



〈箱を開けるのが楽しみ〉

その時畑で採れたものなので、何が入っているかは、お楽しみ！
どうぞ一年を通してのおつき合いをお願いします。

2021.01

はたけは
ひろいな
おおきいな

標高500mの山のとっぺん、世羅高原の畑から、
畑の風と、採れたての野菜のある毎日をお届けします。
農業、化学肥料を使わずに育てました。



〈凍える寒さ〉

12月17日、世羅の最低気温-7℃。
大根もカブも凍りました。雪が積もっている時には土の中にあるネギは凍らないのですが、この日は土の中のネギまで凍りました。



〈外側は虫のため?!〉

むいて、むいて、むいて、むいて…
まん中だけになったうちの白菜。
いつも「あ〜、もったいない…」
と思いながら、虫食いの外葉をむいています。



〈季節を食べるうちの一品〉

サトイモの親芋を蒸してつぶすし、
炒めたタマネギとミンチを混ぜ、とろけるチーズをのせて焼きました。
グラタンドゥフィノアのジャガイモを、親芋にかえてもおもしろそう。

季節の野菜と共に一年を

赤大根の千切りとわさび菜、赤リアスからし菜のサラダ、カブと赤カブの酢の物、大根とカブの葉っぱをゆでて耐熱皿に並べ、オリーブオイルとピザ用チーズをのせて焼いたグラタン。大根とカブ、好きな野菜を畑から採ってきて、パッと作った晩ごはんがおいしくできたときは、ホントうれしい。

ところが、カブの葉っぱをゆでたお湯の中をよーく見てみると、ゆらゆらと揺れるお湯の中に、ゆで上がった一匹のヤサイゾウムシの幼虫が揺れています。これは晩ごはんと一緒に食べる家族に知らせるべきかどうか…。たった一匹なので、知らずに食べたほうが幸せか、それとも、これも知った上で食べるべきか???

忙しい毎日の中で、季節の野菜と向き合う時間を大切に。
季節の野菜と共に一年を過ごし、畑の風と土と太陽を身近に感じていただけたらうれしく思います。

〈1月の野菜〉

露地の畑

白菜、ネギ、ホウレン草、赤茎ホウレン草、黒丸大根、紅心大根、辛味大根、辛味大根(赤)、大浦太ゴボウ、キクイモなどが収穫中。

ハウスの中

水菜、ホウレン草、赤茎ホウレン草、赤リアスからし菜、小カブ、赤カブなどが収穫中です。

中旬頃から、コマツナ、わさび菜、リアスからし菜、ロケット、ミニ大根などの収穫が始まる予定です。

サトイモは、保存穴の中に保存しているものを出荷中。